

VI 防 災

1 概 要

本県の近年における主な災害として、平成26年2月の記録的な大雪では、死傷者や家屋の損壊被害、高速道路や一般道の通行不能、公共交通機関の運休による交通網の麻痺など、県民生活に大きな被害がもたらされた。

平成23年3月には、東北地方太平洋沖地震（M9.0）が発生し、死傷者や家屋の半壊・一部損壊被害、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に伴う計画停電や放射性物質の放出等による農産物の出荷停止など、県民生活に大きな影響がもたらされた。平成21年7月には、竜巻災害があり、負傷者や建物損壊など大きな被害が発生した。平成19年9月には、台風9号による風水害被害があり、本県西部地域を中心に、台風本体が上陸する前から予想をはるかに上回る雨が降り、人的被害は少なかったものの、道路、河川、森林、農地等に多大な被害がもたらされた。

このような災害対応の教訓も踏まえて、災害から県民の生命・身体・財産を保護するため、様々な防災対策を推進している。

(1) 群馬県地域防災計画の修正

災害対策基本法に基づいて作成する都道府県地域防災計画は、都道府県における防災に関する基本的かつ重要な計画として位置づけられている。

本県では、群馬県防災会議が、県地域防災計画に検討を加え所要の修正を行っている。直近の修正としては、平成27年度に、防災基本計画の修正（H26.11月及びH27.7月）を踏まえ、放置車両及び立ち往生車両対策の強化、避難誘導対策の強化、火山災害への対策強化を図った。

(2) 各種訓練の実施

災害対応の知識・技術力の向上、初動体制の確立及び関係機関との連携強化を図るため、次の訓練を実施した。

区 分	参加者	訓練内容等
総合防災訓練 (沼田市との共催)	1,000人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成27年9月5日（土） ○場所：沼田市沼須町 「（仮称）利南運動広場」 ○内容：震災訓練、テロ対策訓練 ○参加機関：自衛隊、警察、消防、医療機関、民間事業者、ボランティア、住民など 90機関
災害対策本部 図上訓練	174人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成28年2月9日（火） ○場所：災害対策本部室、県民ホール ○内容：「群馬県災害対策本部各班における応急業務マニュアル」の自己検証等を行うため、大規模地震発生及び浸水害を想定し、県防災の中核である県災害対策本部の機能、役割の確認、関係機関との連携訓練 ○参加機関：陸上自衛隊第12旅団、警察本部、日赤群馬県支部、群馬DMAT、群馬県消防長会等の機関

(3) 備蓄倉庫・物資の整備

地域防災センター、10行政事務所、10拠点校及び6土木事務所事業所等に設置してある備蓄倉庫に、食糧、保存水、要配慮者用品等を補充した。

(4) 自主防災組織の育成・強化

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、自主防災組織の組織率100%を目指し、自主防災組織の普及啓発を行う出前講座や、地域の防災リーダーを育成する県

民防災塾等を実施し、自主防災組織の育成・強化を図った。(H27.4.1現在の組織率83.2%)さらに、地域の災害対応力の向上を図ることを目的としたゲーム的訓練(DIG・HUG)を、県内の自主防災組織を対象に市町村と連携して実施した。(DIG:3組織、HUG:6組織)

県民防災塾は、平成12年度から実施しており、平成27年度は29人が参加した。(平成12年度の開始から延べ619人が受講。)

また、「地域防災力パワーアップ支援事業」として、平成26年度は、災害対応先進地視察研修会(参加人数18人)を実施した。

(5) 危機管理フェアの開催

災害やテロなど県民生活の安全安心を脅かす危機事案について、各種情報や対処方法について県民に正しく理解してもらうことを目的とし、平成28年1月15日・16日の2日間、県庁を会場に開催した。

初日の講演会では、「平成27年9月関東・東北豪雨における緊急消防援助隊群馬県隊の活動内容」「日本の火山観測と火山防災”災害は忘れた頃にやってくる”」「御嶽山噴火による救出・救助活動について」「気象災害から身を守る～知って得する気象情報～」の4部構成で講演を行ったほか、2日間を通して、自衛隊、警察、消防など防災機関が保有する装備資機材等やパネルの展示、各種体験コーナーや備蓄食糧の展示販売などを行った。自衛隊による炊き出しの無料配布も行い、延べ2,300人の方が来場し、広く防災に対する意識啓発を行うことができた。

(6) 防災キャラバンの実施

市町村で行われる各種「イベント」等の機会をとらえ、地震体験車による各種震度体験、備蓄物資・資機材の展示、災害用保存食の試食等を行い、参加者の防災意識向上を図った。

(7) 火山防災対策

浅間山の火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため、平成17年11月に、群馬県、長野県、浅間山隣接市町村等により浅間山火山防災対策連絡会議を発足し、以後毎年2回開催している。国の防災基本計画の改定に合わせて平成25年12月18日に「浅間山火山防災協議会」へと移行した。

また、平成26年3月には、浅間山と同様に、日光白根山における火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため「日光白根山火山防災協議会」が群馬県、栃木県、隣接市町村等により設立された。

御嶽山の噴火の教訓、火山防災対策の特殊性を踏まえ、「活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律」が平成27年12月10日に施行されたことに伴い、浅間山、日光白根山の両協議会は、同法第4条に基づく協議会へと平成28年3月に改組を行った。

(8) 地震防災対策

本県では、平成23年度から平成24年度にかけ、県内3断層(帯)を対象に被害想定を実施し、平成24年6月に「群馬県被害想定調査」を公表した。

また、この被害想定を踏まえ、県・市町村・国・事業者・県民等の取り組む施策及び事業により、平成34年度までの減災目標を定めた群馬県地震防災戦略を平成25年3月に策定した。

地震防災・減災を効果的に推進するためには、県民や地域の取組が極めて重要な役

割を担うことから、平成25年度から地震防災戦略の普及推進に取り組んでいる。平成27年度は、市町村等が開催する行事において、普及啓発事業を計5回開催し、来場した計3,450人に対し、地震防災・減災に関する意識の高揚を図ることができた。

(9) その他

ア 林野火災消火用資機材倉庫の維持管理

陸上自衛隊第12旅団相馬原飛行場敷地内に平成13年度に建設した林野火災消火用資機材倉庫の維持管理を行った。

また、長野県、新潟県及び栃木県との協定により空中消火用バケットの使用について、共同して運用管理を行った。

イ 災害救助法の適用

一定規模以上の災害が発生した場合は、り災者の保護と社会秩序の保全を図るため、災害救助法を適用し、知事がり災者の救助に当たることとなっている。平成26年度は、同法に基づく救助を要する規模の災害が発生しなかったことから、その適用はなかった（本県では、平成26年2月の記録的な大雪により9市町村に同法を適用した）。

2 群馬県地域防災計画の修正状況

防災会議 審議年月日	主な修正事項 (これまでの修正のうち重要なものを抜粋)
38. 9. 10	○群馬県地域防災計画作成
39. 8. 24	○「大震火災予防計画」を新設
42. 6. 1	○災害予防計画中、地すべり関係のほか、山崩れ、がけ崩れ関係危険地域の予防対策を追加
44. 6. 20	○災害予防計画に「火山予防計画」を新設
47. 6. 29	○「地すべり防止対策基本計画」を新設
48. 6. 12	○「林野火災予防計画」及び「林野火災応急対策計画」を新設
53. 7. 25	○災害応急対策計画に「相互応援対策計画」を新設
55. 7. 24	○「自主防災組織育成強化計画」を新設 ○災害対策本部設置前の配備体制として災害警戒本部を追加
63. 7. 26	○群馬県防災行政無線の整備完了に伴い、通報・伝達システムを全面修正
H4. 8. 6	○県地域防災計画の別編として「県震災対策計画」を作成
7. 9. 21	○平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、現行計画を抜本的に修正。主な修正事項は次のとおり。 ①初動体制の確立…宿日直体制・緊急登庁員制度の導入、個別受信機の配備 ②情報収集・伝達体制の整備…パソコンネットワークの構築、代替通信手段の確保 ③自主防災活動の推進…自主防災組織促進協議会の設置、住民の役割を明記 ④相互応援体制の確立…現行応援体制の強化、隣接県との協定締結 ⑤ボランティア活動の育成・支援…ボランティアーの育成、登録制度の導入 ⑥応急物資の備蓄の推進…家庭における備蓄の励行、県・市町村の役割を明記 ⑦防災拠点の整備…地域防災センターの整備
8. 8. 21	○災害対策基本法及び群馬県災害対策本部条例の改正に伴い、群馬県災害対策本部に現地災害対策本部の項を追加
9. 8. 20	○県防災ヘリコプター「はるな」の導入に伴い、「防災ヘリコプター活用計画」を新設
10. 8. 25	○国の防災基本計画の修正に合わせ、道路事故災害及び鉄道事故災害に関する予防計画及び応急対策計画を新設
11. 8. 27	○平成10年に福島県の救護施設で発生した土石流災害を踏まえ、本編に災害弱者対策を新設 ○震災対策編に「本県の地震環境」及び「被害の想定」を新設
13. 6. 13	○県地域防災計画の本編を風水害・雪害対策編、火山災害対策編、事故災害対策編、火災対策編の4つに編立
14. 6. 5	○土砂災害防止法の制定に伴い、土砂災害に関する各種の計画を修正 ○気象業務法に基づく注意報・警報の地域細分化(二次細分地域)に伴う修正
15. 12. 8	○日本郵政公社の発足に伴う内容の変更 ○群馬県被災宅地危険度判定要綱の制定に伴う事項の追加
16. 12. 27	○水防法改正に伴う内容の変更 ○避難準備(災害時要援護者避難)情報の創設
19. 7. 6	○気象情報の改正(注意報区分変更や土砂災害警戒情報新設等)に伴う修正 ○平成18年豪雪災害の教訓を踏まえた修正
22. 8. 24	○防災基本計画の修正に伴う修正(緊急地震速報、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立等) ○気象情報の改正(気象警報等が市町村単位の発表になったことや噴火警戒レベルの導入)に伴う修正
24. 1. 30	○平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえた修正。主な修正事項は以下のとおり。 ①県境を越えた広域避難者の受け入れ ②県外で原子力施設事故が発生した際の対応 ③災害時要援護者等への配慮の一層の充実 ④災害時等の燃料不足への対応

25. 3. 21	<p>○東日本大震災の被災地における防災課題や教訓等を踏まえた防災基本計画の修正に伴う修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大規模広域災害を意識した平時からの備え <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体や遠隔地自治体との相互応援協定締結の推進 ・障害者・介護保険施設等の施設間連携の推進 ②大規模広域災害発生時の応急対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村域、県域を超えた広域避難への対応規定新設 ・県域を超えた広域医療搬送に係る規定の新設 <p>○県地震被害想定調査結果を踏まえ、災害対策の充実を図るための修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県地震被害想定調査結果の反映 ・避難所生活における環境改善及び災害時要援護者への配慮充実 ・帰宅困難者対策の充実
26. 12. 22	<p>○防災基本計画修正（H26.1月）及び本県における平成26年2月の大雪に係る対応状況の検証（平成26年7月）等を踏まえた修正</p> <p>(1) 大規模災害への対策強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災の基本理念の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・「減災」の考え方の明示、国・県・市町村・事業者・住民等各主体が一体となった防災対策の推進 ②大規模広域災害に対する即応力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・国による応援、応急措置の代行による支援体制の強化 ③住民等の円滑かつ安全な避難の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・指定緊急避難場所の指定 ・避難行動要支援者名簿の作成・活用 ・避難勧告等の判断基準の明確化 ④被災者保護対策の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・指定緊急避難場所と区別した指定避難所の指定 ・被災者台帳の作成 ⑤平素からの防災への取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画の作成 <p>(2) 大雪への対応強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県内全域を対象とした雪害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域を対象とした道路除雪体制の整備 ・道路管理者等が連携した道路除雪の方法等に関する基本的な方針の策定 ・雪害対策マニュアルの作成 ②職員の応急活動体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・風水害・雪害対策における緊急登庁員制度の導入
28. 3. 31	<p>○防災基本計画（H26.11月及びH27.7月）を踏まえた修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ①放置車両及び立ち往生車両対策の強化 ②避難誘導対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報の活用 ・避難準備譲歩運活用 ・適時適切な避難行動等 ③火山災害への対策強化 <ul style="list-style-type: none"> ・火山防災情報の伝達体制の強化 ・火山噴火から適切な避難方策等の検討 ・火山防災教育や火山に関する知識の普及 ④最近の災害対応の教訓を踏まえた運用の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・実働組織間の調整 ・重要情報の集約・調整

3 市町村地域防災計画の修正報告の状況

市町村名	報告年月日
東吾妻町	H27. 4. 15
安中市	H27. 4. 14
神流町	H27. 5. 14

市町村名	報告年月日
高山村	H27. 6. 22
榛東村	H27. 7. 31
渋川市	H27. 8. 27

市町村名	報告年月日
藤岡市	H28. 3. 2
太田市	H28. 3. 7
みどり市	H28. 3. 11

前橋市	H27. 5. 27
長野原町	H27. 5. 29
中之条町	H27. 6. 22

富岡市	H27. 11. 6
伊勢崎市	H28. 1. 22
沼田市	H28. 2. 4

桐生市	H28. 3. 24
-----	------------

4 群馬県総合防災訓練実施状況

※訓練参加実人員

回	年月日	訓練実施場所	参加人員	共催市名
1	40. 8. 10	前橋市岩神町 利根川右岸 県庁北	1,000	前橋市
2	41. 7. 29	高崎市竜見町地先烏川左岸 聖橋下	1,021	高崎市
3	42. 7. 28	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	730	桐生市
4	43. 7. 26	伊勢崎市八斗島町地先 利根川左岸	739	伊勢崎市
5	44. 8. 25	太田市大字飯田 学校建設予定地	1,068	太田市
6	45. 7. 24	渋川市金井羽黒425 関東電化工業敷地	902	渋川市
7	46. 7. 23	館林市大字羽附 群馬県立つつじが岡公園内	1,221	館林市
8	47. 8. 22	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	1,165	沼田市
9	48. 7. 26	藤岡市立石字北川原地先 烏川右岸	1,238	藤岡市
10	49. 9. 3	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	1,246	前橋市
11	50. 7. 23	富岡市七日市字上久保1250 鐺川左岸	1,222	富岡市
12	51. 8. 24	安中市中宿2003 碓井川左岸	901	安中市
13	52. 8. 10	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	1,208	桐生市
14	53. 8. 8	高崎市下和田町地先 烏川左岸	1,148	高崎市
15	54. 8. 8	伊勢崎市福島町地先 利根川左岸	1,387	伊勢崎市
16	55. 9. 1	太田市大字東別所地先 太田大泉飛行場跡地	1,333	太田市
17	56. 9. 1	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	879	沼田市
18	57. 8. 6	館林市城町 三の丸南面グラウンド東広場	4,270	館林市
19	58. 8. 5	渋川市大野地内 渋川市総合体育館南牧草地	3,304	渋川市
20	59. 9. 1	藤岡市下戸塚地内 神流川運動場	10,134	藤岡市
21	60. 8. 6	富岡市上黒岩地内 富岡北部運動公園計画地	7,693	富岡市
22	61. 8. 30	安中市中宿地内 碓井川左岸河川敷	7,990	安中市
23	62. 8. 26	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	※ 1,453	前橋市
24	63. 8. 25	高崎市八千代町一丁目 碓井川左岸 八千代運動公園	※ 1,244	高崎市
25	元. 8. 25	桐生市桜木町地内 渡良瀬川右岸 さくら遊園	※ 1,364	桐生市
26	2. 8. 30	伊勢崎市八斗島町地先 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 1,613	伊勢崎市
27	3. 8. 22	太田市只上地内 渡良瀬川右岸 渡良瀬川運動場	※ 1,519	太田市
28	4. 8. 25	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	※ 1,288	沼田市
29	5. 8. 25	館林市大島町地内 渡良瀬川右岸 館林市青少年ひろば	※ 1,713	館林市
30	6. 9. 1	渋川市半田地内 上毛新聞社情報製作センター建設予定地	※ 818	渋川市
31	7. 9. 5	藤岡市上戸塚地内 神流川左岸 神流川運動場	※ 1,138	藤岡市
32	8. 8. 30	富岡市上黒岩1377-1 もみじ平総合公園 北ゾーン	※ 1,310	富岡市
33	9. 9. 4	安中市郷原939 (株)岡本工作機械製作所安中工場敷地	※ 1,019	安中市
34	10. 9. 4	前橋市総社町総社地内 利根川右岸 大渡緑地	※ 1,266	前橋市
35	11. 9. 3	高崎市八千代町 八千代運動公園	※ 1,603	高崎市
36	12. 9. 5	桐生市桜木町 さくら遊園	※ 1,741	桐生市
37	13. 9. 2	伊勢崎市八斗島町 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 2,013	伊勢崎市
38	14. 8. 31	太田市原宿町 渡良瀬川右岸 渡良瀬ランド	※ 1,451	太田市
39	15. 8. 30	沼田市硯田町 沼田市運動公園	※ 1,428	沼田市
40	16. 8. 29	館林市大島町 渡良瀬川河川敷青少年ひろば	※ 1,100	館林市
41	17. 9. 3	渋川市半田地内 坂東橋緑地公園	※ 815	渋川市
42	18. 9. 2	藤岡市立石地内 烏川右岸 烏川緑地	※ 1,332	藤岡市
43	19. 10. 20	前橋市粕川町 サンデン(株)赤城事業所敷地	※ 757	前橋市
44	20. 9. 6	安中市中宿 碓氷川左岸敷地内	※ 738	安中市
45	21. 9. 12	みどり市笠懸町阿左美地内 桐生競艇場駐車場	※ 827	みどり市
46	22. 9. 18	富岡市蚊沼607-3他 (株)稲葉製作所富岡工場建設予定地	※ 960	富岡市
47	23. 9. 10	高崎市下之城町 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業地内	※ 1,000	高崎市
48	24. 9. 8	桐生市桜木町地内 渡良瀬川河川敷「さくら遊園」	※ 990	桐生市
49	25. 9. 7	伊勢崎市八斗島町 利根川河川敷「八斗島ちびっこ広場」	※ 1,300	伊勢崎市
50	26. 9. 6	太田市原宿町 渡良瀬川河川敷「渡良瀬スポーツ広場」	※ 1,300	太田市
51	27. 9. 5	沼田市沼須町 「(仮称)利南運動広場」	※ 1,000	沼田市

(注) 訓練概要

① 想定・・・1回～15回は台風、16・17・23・39・43回は地震、18～22・24～31・34～38・40～42・45～50回は地震及び台風(41～50回はテロ対策含む)、32、33、51回は地

- 震及び林野火災（51回はテロ対策含む）
- ② 訓練種目・・・警戒広報・避難誘導、被害調査・情報収集、孤立地域からの救助、情報通信、水防、各種救出救助、消火、林野火災消火、救急医療、ライフライン応急復旧、救援物資輸送、テロ対処等
 - ③ 参加機関・・・県、市町村、自衛隊、警察、消防、国土交通省、日赤、東京電力、NTT、地域住民、各種ボランティア、その他防災関係機関・団体

5 県火山防災対策連絡会議等開催状況

年月日	場 所	主 な 議 題
54. 10. 31	中之条合同庁舎会議室	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災計画の概要について ○各機関における対策の現況及び今後の計画について
56. 1. 19	"	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災対策連絡会議の設置について ○浅間山噴火防災応急計画の見直しについて
56. 5. 29	"	○火山噴火（爆発）災害対策細部計画（仮称）案について
58. 3. 15	"	○浅間山の火山活動について
59. 3. 2	"	○浅間山及び草津白根山の噴火状況等について
60. 3. 1	"	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
61. 2. 28	"	○情報伝達施設（防災無線）の整備運用について
62. 2. 18	"	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について
63. 2. 14	"	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
3. 1. 24	"	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
5. 3. 23	"	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山地域防災機能強化総合治山事業について ○構成員の新規加入について
8. 3. 22	中之条町役場大会議室	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山噴火災害危険区域予測図（ハザードマップ）の作成について ○火山噴火警戒避難対策事業について
10. 3. 17	吾妻町山村開発センター 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の概要及び修正について ○草津白根山及び浅間山の最近の活動状況等について
12. 3. 17	群馬県庁291会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
13. 11. 2	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○群馬県火山防災対策連絡会議設置要綱の制定について ○構成機関の追加について
15. 12. 19	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○構成機関の追加について
18. 3. 15	群馬県庁291会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
19. 6. 28	嬬恋会館3階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・浅間山航空観測について ・浅間山ハザードマップについて ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山噴火シナリオ（案）について ・噴火警戒レベルの導入について ・意見交換 ほか
19. 11. 29	嬬恋会館3階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・防災対応に係る申し合わせ書について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・軽井沢測候所火山観測要員の浅間山周辺市町村への駐在

20. 2. 07	群馬県地域防災センター	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか ○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・火山噴火（爆発）防災計画の今後について
20. 7. 14	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・国土交通省・内閣府による講演会 ほか
20. 11. 18	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか
21. 3. 05	群馬県庁7階 災害対策本部室	○浅間山火山防災対策連絡会議（幹事会） <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山の最近の活動状況について ・噴火警戒レベルの引上げ等に関する考え方について ・火山に関する解説情報、降灰予報等について ・意見交換 ・連絡会議への新規参画について ほか
21. 7. 02	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山火山防災マップ原案について ・「防災対応についての申し合わせ」の内容修正等 ・浅間山の最近の活動状況について ・意見交換 ほか
21. 12. 22	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の融雪型火山泥流における防災対応の基本方針 ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
22. 3. 15	群馬県地域防災センター	○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・火山防災エキスパートによる講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
22. 8. 24	御代田町 エコールみよた	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について

22. 12. 22	御代田町 エコールみよた	<ul style="list-style-type: none"> ・その他各種活動状況について ほか ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
23. 8. 16	嬭恋村 嬭恋会館	<ul style="list-style-type: none"> ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流に関する住民説明会について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
23. 11. 25	嬭恋村 嬭恋会館	<ul style="list-style-type: none"> ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流に関する住民説明会の実施状況について ・融雪型火山泥流に係る防災対応に関する申し合わせ書について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
24. 3. 15	群馬県地域防災センター	<ul style="list-style-type: none"> ○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・気象庁火山課職員による講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
25. 1. 22	佐久市 浅間会館	<ul style="list-style-type: none"> ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流交通規制予定箇所等について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況報告について
25. 8. 8	長野原町 山村開発センター	<ul style="list-style-type: none"> ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・設置要綱の修正及び新規構成員の加入について ・融雪型火山泥流に係る防災対応に関する申し合わせ書の修正について ・浅間山大規模噴火対策の検討状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況報告について
25. 12. 18	長野原町 山村開発センター	<ul style="list-style-type: none"> ○浅間山火山防災協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・設置要綱の修正及び新規構成員の加入について ・浅間山大規模噴火に対する防災対応の検討について ・融雪型火山泥流に係る具体的で実践的な避難計画の策定

<p>26. 3. 18</p> <p>群馬県庁291会議室</p>		<p>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況報告について <p>○群馬県火山防災対策連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府火山防災エキスパートによる講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
<p>26. 3. 27</p>	<p>栃木県庁 危機管理本部室</p>	<p>○日光白根山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会設置要綱について ・会長の選任について ・事業計画について ・その他報告について
<p>26. 8. 11</p>	<p>小諸市 東信教育事務所</p>	<p>○浅間山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降灰についての防災対応の検討について ・合同会議の開催場所について ・融雪型火山泥流に係る具体的な避難計画の策定について
<p>26. 10. 31</p>	<p>栃木県庁 危機管理本部室</p>	<p>○日光白根山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光白根山噴火シナリオ（案）について ・日光白根山火山防災協議会事業計画について
<p>26. 12. 17</p>	<p>小諸市 東信教育事務所</p>	<p>○浅間山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・御嶽山噴火に伴う対応等について ・大規模噴火（降灰）についての防災対応の検討について ・融雪型火山泥流に係る具体的な避難計画の策定について ・浅間山噴火総合防災訓練の実施について
<p>27. 8. 28</p>	<p>片品村役場</p>	<p>○日光白根山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光白根山火山防災協議会の構成員の追加について ・日光白根山噴火警戒レベル導入に係る検討状況について
<p>27. 11. 2</p>	<p>嬭恋村 東海大学嬭恋研修センター</p>	<p>○浅間山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模噴火（降灰）避難対策の検討方法について ・融雪型火山泥流に係る具体的な避難計画について ・浅間山防災訓練検討に係る中間報告について ・浅間山における携帯電話不感地域解消について ・大規模噴火時の避難路の検討について
<p>28. 3. 28</p>	<p>長野原町 山村開発センター</p>	<p>○浅間山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山火山防災協議会の改組について ・会長等の改選について ・大規模噴火（降灰）避難対策の検討方法について ・融雪型火山泥流に係る具体的な避難計画について ・浅間山防災訓練及び大規模噴火時の避難路の検討状況について ・火山防災協議会への砂防分野専門家の参画について
<p>28. 3. 30</p>	<p>群馬県地域防災センター</p>	<p>○日光白根山火山防災協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光白根山火山防災協議会の改組について ・日光白根山火山防災計画（案）について ・設置要綱第9条に基づく専門部会設置について ・火山防災協議会への砂防分野専門家の参画について ・会長等の改選について

6 平成27(2015)年の気象概況

平成27年の群馬県における月別気象概況は次のとおりです(前橋地方気象台提供)。

1月	<p>上旬から中旬は、冬型の気圧配置により、南部平地では晴れて山地では雪の日が多くなりました。下旬は周期的に天気は変わり、低気圧の影響で平地でも積雪となる日もありました。月平均気温は高く、降水量は多くなりました。</p> <p>上旬は、冬型の気圧配置が続き、南部では晴れて北部山地では雪となる日が多くなりました。県内の平均気温は、北部山地では平年より低く、他は平年並、降水量は、北部山地では平年並、他は平年並か少なくなりました。</p> <p>中旬は、期間の中頃に本州の南岸を通過した低気圧の影響で雪や雨が降りましたが、他は冬型の気圧配置や高気圧に覆われ、南部平地では晴れて山地では雪となる日が多くなりました。県内の平均気温は平年並か高く、降水量は多くなりました。</p> <p>下旬は、低気圧や前線の通過により天気は周期的に変わりました。期間の初めと終わり頃には本州の南を通過した低気圧の影響で雪やみぞれとなり、平地でも積雪となる所がありました。県内の平均気温は平年より高く、降水量は北部山地の一部で平年並から少なくなりましたが、他は平年より多くからかなり多くなりました。</p>
2月	<p>日本付近は冬型の気圧配置が長続きせず、上旬から中旬にかけて冬型の気圧配置が緩んでも下層に寒気が残ったため、気温が平年より下回る日が多くなりました。天気は周期的に変わったが、低気圧の影響は小さかったため降水量は平年を下回りました。</p> <p>上旬は、期間初めは冬型の気圧配置が続き、南部では晴れて山地では雪となりました。中頃からは本州付近を通過する低気圧や前線の通過により天気は周期的に変わりました。県内の平均気温は平年並か低く、降水量は南部平地の一部を除き平年並から少なくなりました。</p> <p>中旬は、期間初めから中頃にかけて冬型の気圧配置が強まり、北部山地では雪の日が多くなりました。期間後半には本州の南を通過する低気圧や前線の影響で雨となる日もありました。県内の平均気温は平年並、降水量は北部山地で多くなり、他は平年並でした。</p> <p>下旬は、期間初めから終わりにかけて、周期的に低気圧や前線の影響を受け曇や雨の降る日が多くなり、標高の高い山地では雪となりました。期間最後は一時的に冬型の気圧配置が強まり、平地では晴れましたが北部山地は雪となりました。県内の平均気温は平年より高く、降水量は平年並か少なくなりました。</p>
3月	<p>日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過し、前半は低気圧や前線の影響を受けやすくなりました。後半はシベリア高気圧の日本付近への張り出しが弱く、北からの寒気の南下が弱かったことに加え、日本の東海上では高気圧の勢力が強く、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温がかなり高くなりました。</p> <p>前橋の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並でした。</p> <p>上旬は、周期的に低気圧や前線の影響を受け曇や雨の降る日が多く、低気圧や前線の通過後は一時的に冬型の気圧配置が強まり標高の高い山地では雪となる日がありました。県内の平均気温は平年より高く、降水量は多くなりました。</p> <p>中旬は、期間初めから中頃にかけて冬型の気圧配置から次第に移動性の高気圧へ覆われ晴れる日が多くなり、後半は低気圧や前線の影響で曇や雨となる日がありました。県内の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か少なくなりました。</p> <p>下旬は、冬型の気圧配置となる日もありましたが、次第に移動性の高気圧へ覆われる日が多くなり、期間を通して晴の日が続きました。県内の平均気温は平年並から高く、特に南部平野部ではかなり高くなり、降水量は北部山地の一部を除きかなり少なくなりました。</p>
4月	<p>上・中旬は、低気圧や前線の影響で天気の崩れる日が多く、下旬は高気圧に覆われ晴の日が多くなりました。前橋の月平均気温は平年より高く、月間降水量は平年並、月間日照時間は平年より少なくなりました。</p> <p>上旬は、日本海の低気圧からのびる前線や、本州の南を通過する前線を伴った低気圧の影響で、曇や雨の日が多くなりました。期間終わりには、上空に強い寒気が入り、雪やみぞれが降りました。県内の平均気温は平年並から高く、降水量は平年並から多くなりました。</p> <p>中旬は、日本海の低気圧からのびる前線や、本州の南を通過する前線を伴った低気圧の影響で、曇や雨の日が多くなり、中頃には上空に強い寒気が入り、雷やひょうを観測しました。県内の平均気温は概ね平年並で、降水量は平年並から多くなりました。</p> <p>下旬は、期間初めに雨が降った以降は高気圧に覆われ晴の日が続きました。このため期間初めと中頃を除き、県内全般に気温はかなり高く、降水量は北部では少なく、南部ではかなり少なく経過しました。</p>
5月	<p>低気圧は日本の北を通ることが多く、中旬に台風第6号や低気圧の影響で雨の日もあり</p>

	<p>ましたが、全般に移動性高気圧に覆われ晴れの日が多くなりました。前橋の月平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なくなりました。</p> <p>上旬は、高気圧に覆われ晴れの日が続き、県内全般に気温は平年より高くからかなり高く経過し、期間終わりに寒気を伴った気圧の谷の通過後は気温が低くなりました。降水量は県内全般に平年より少なくからかなり少なく経過しました。</p> <p>中旬は、高気圧に覆われ晴れる日もありましたが、低気圧や本州の南に停滞する前線の影響により、曇や雨の日もありました。県内の気温は平年より高くからかなり高く経過し、降水量は平年並から少なく経過しました。</p> <p>下旬は、日本の南に前線が停滞する日が多くなりましたが、高気圧に覆われ晴れや薄曇となる日が続きました。県内の気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少ないからかなり少なく経過しました。</p>
6月	<p>梅雨前線が西日本の南岸から東日本の南海上に停滞することが多く、活動は活発でした。</p> <p>前橋の月平均気温は平年並、降水量は平年より多くなりました。</p> <p>上旬は、日本の南に前線が停滞し、低気圧や前線の影響で曇や雨の日と、高気圧に覆われ晴れや薄曇となる日が交互に現れました。県内の気温は、北部山地の一部で平年より低い他は、平年並から高く経過し、降水量は平年より多いからかなり多く経過しました。</p> <p>中旬は、日本の南に前線が停滞し、低気圧や前線の影響で曇や雨の日が続きました。期間中頃には、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、15日には、伊勢崎市、前橋市、渋川市で突風による被害が発生しました。県内の気温は、平年並か高く、降水量は平年並からかなり多く経過しました。</p> <p>下旬は、日本の南に梅雨前線が停滞し、期間初めは上空の寒気の影響で雷を伴った激しい雨の日がありました。中頃から後半にかけては、梅雨前線の北上や南下により、曇や雨の日と晴の日が交互に続きました。県内の気温は平年並か低く、降水量は一部を除き平年並から少なく経過しました。</p>
7月	<p>上旬は、梅雨前線が本州南岸に停滞することが多く、湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなり、中旬以降は、日本の南東海上で太平洋高気圧の勢力が強まり、晴れた日が多くなりました。台風第11号が16日に高知県に上陸し、17日に日本海に進んだ影響で大雨となりました。前橋の月平均気温は平年より高く、降水量は平年並でした。</p> <p>上旬は、本州の南岸から伊豆諸島付近に梅雨前線が停滞し、雨の日が多くなりました。県内の気温は低いからかなり低く、降水量は平年並から多く経過しました。</p> <p>中旬は、期間初めから中頃までは、高気圧に覆われ晴れの日が続きました。中頃には台風第11号の影響で大雨となり、期間終わりは高気圧に覆われ晴れましたが、湿った空気の影響で雷もありました。県内の気温は高いからかなり高く、降水量は概ね平年並から多く、一部地域でかなり多い所もありました。</p> <p>下旬は、高気圧に覆われましたが南からの湿った空気の影響で、雲が広がる日が多く、日中の昇温により大気の状態が不安定となり、雷を伴う日が多くなりました。県内の気温は高いからかなり高く、降水量は概ね北部で多く、南部で少なく経過しました。</p>
8月	<p>上旬は、太平洋高気圧が本州付近に張り出し、各地で日最高気温が35℃以上の猛暑日となりました。中旬は、オホーツク海からカムチャツカの東にかけての高気圧と日本の南海上の太平洋高気圧との間で本州付近が気圧の谷となり、低気圧や前線の影響を受けやすくなりました。下旬は、非常に強い台風第15号の影響で大雨の日がありました。前橋の月平均気温は平年並、降水量は平年より多くなりました。</p> <p>上旬は、期間初めから中頃過ぎまでは、高気圧に覆われ晴れるが、日中の昇温や上空の寒気により大気の状態が不安定となり、雷を伴う日が多くなりました。期間終わりにかけては、北からの高気圧に覆われるが、湿った空気の影響で雲が広がりやすくなりました。県内の気温は高いからかなり高く、降水量は一部を除き少なくからかなり少なく経過しました。</p> <p>中旬は、期間初め台風第14号の影響で大雨となり、その後は前線が本州付近を停滞し、曇や雨の日が多くなりました。県内の気温は平年並、降水量は平年より多くから多く経過しました。</p> <p>下旬は、前線や北東からの湿った空気による影響で、雨や曇の日が多くなり、期間初めに台風第16号、期間中頃に台風第15号の影響を受けました。県内の気温は一部を除き平年よりかなり低く、降水量は平年並から多く経過しました。</p>
9月	<p>月の初めは、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多く気温の低い日が続きました。9日、台風第18号により、東日本太平洋側を中心に広い範囲で大雨となりました。さらに、日本の東海上を台風第17号が北上した影響も加わって、記録的な大雨となりました。その後は月末まで、本州付近は高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、概ね天気は数日の周期で変化しました。前橋の月平均気温、降水量は平年並でした。</p> <p>上旬は、本州南岸に停滞する前線の影響で、雨や曇の日が多くなり、期間終わりに</p>

	<p>かけて、南海上を北上し愛知県に上陸した台風第18号の影響で、前線の活動が活発になり大雨となりました。</p> <p>県内の気温は平年より低いかかなり低く、降水量は平年より多いかかなり多くなりました。</p> <p>中旬は、期間中頃から終わりにかけて、本州の南岸に停滞する前線の影響で雨となりました。他の期間は、高気圧に覆われ晴れ間がありましたが、湿った空気の影響で雲が広がる日も多くなりました。県内の気温は平年並か低く、降水量は平年並か少なくなりました。</p> <p>下旬は、期間中頃に本州の南岸に停滞する前線の影響で雨となりましたが、北からの高気圧に覆われ晴の日が多くなりました。県内の気温は平年並か高く、降水量は一部地域を除き平年並でした。</p>
10月	<p>月の前半は寒気が流れ込みやすく気温が低かった一方、後半は大陸からの暖かい空気に覆われたため高くなり、月平均気温は平年並か高くなりました。月間日照時間は、大陸から移動してきた高気圧に覆われた日が多く、平年よりかなり多くなり、降水量はかなり少なくなりました。前橋の月平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり少なくなりました。</p> <p>上旬は、期間の初めに前線や低気圧の影響で雨の日がありましたが、全般に北からの高気圧に覆われ晴の日が多くなりました。県内の気温は平年並か低く、降水量は一部地域を除き平年より少なくなりました。</p> <p>中旬は、期間の初めと中頃に前線や気圧の谷の影響で雨の日がありましたが、全般に移動性高気圧に覆われ晴の日が多くなりました。県内の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少なくなりました。</p> <p>下旬は、期間の初めと終わりは高気圧に覆われ晴れましたが、前線や気圧の谷、湿った空気の影響で雲が広がり易くなりました。期間中頃には一時的に冬型の気圧配置となりました。県内の気温は一部地域を除き平年より高いかかなり高く、降水量は平年より少ないかかなり少なくなりました。</p>
11月	<p>冬型の気圧配置が現れにくく、低気圧と高気圧が交互に通過して、天気は数日の周期で変わりました。曇りや雨の日が多くなったため多雨・寡照となりました。また、期間を通して、北からの寒気の流れ込みが弱く、さらに南からの暖かく湿った気流の影響で、気温の高い日が多くなりました。前橋の月平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多くなりました。</p> <p>上旬は、期間初めに低気圧や前線の影響で雨の日がありましたが、中頃までは高気圧に覆われ晴の日が続きました。中頃から期間終わりにかけては、低気圧や前線の影響で雨の日が多くなりました。県内の気温は概ね平年より高く、降水量は平年並か多くなりました。</p> <p>中旬は、期間中頃と終わりに晴れる日がありましたが、全般に低気圧や前線の通過、北に偏った高気圧の影響から東からの湿った空気が入り易く、曇りや雨の日が多くなりました。県内の気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より多いからかなり多くなりました。</p> <p>下旬は、期間前半は北から高気圧に覆われるが湿った空気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。期間後半になると、次第に冬型の気圧配置となり、晴が多くなりました。県内の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多くなりました。</p>
12月	<p>冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や前線の影響を受けやすくなりました。期間中頃から次第に冬型の気圧配置となり、山地では雪の降る日が増えました。全般に寒気の南下が弱く、気温の高い日が続いたため、月平均気温がかなり高くなりました。</p> <p>上旬は、全般に高気圧に覆われ晴の日が多く、中頃には冬型により北部山地では雪となる所がありました。県内の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少なくなりました。</p> <p>中旬は、期間の初めは、関東の南を進む低気圧や前線の影響で、雨の降る日がありました。中頃からは冬型の気圧配置が多くなり、南部では晴、北部では山沿いを中心に雪の降る日が多くなりました。県内の気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並か多くなりました。</p> <p>下旬は、全般に高気圧に覆われ晴の日が続きました。北部山地では冬型の気圧配置による雪の日も多くなってきました。県内の気温は概ね平年より高いからかなり高く、降水量は概ね平年並か少なくなりました。</p>